

ADCUBE

壁厚ニッチ収納 [アドキューブ]

施工説明書

必ずお読みください

施工される方へ

施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。



ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工を行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



内装専用の製品です。屋外での使用はできません。

屋外禁止



施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。

キズ注意



屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。

水・湿気禁止



木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。

火気厳禁



躯体に使用する木材は乾燥材でご使用ください。

反り・ねじれ厳禁



溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

溶剤厳禁

目次

製品図面・パーツセット明細	1
施工前の確認事項	1~2
躯体準備	2
施工手順	3~7
設置位置イメージ	8~裏面

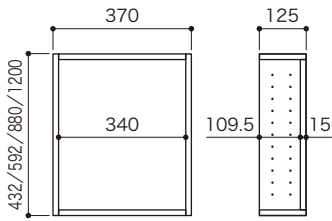
施工方法には壁埋め込み施工と壁付け施工があります。納まりをご確認の上、施工を行なってください。

製品図面・パーツセット明細

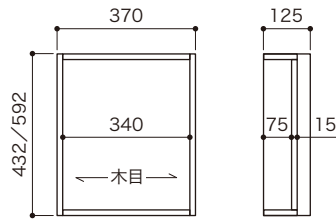
寸法単位: mm

以下のパーツがすべて揃っているかをご確認ください。

ベースボックス

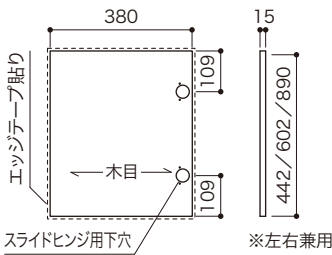


リモコンボックス

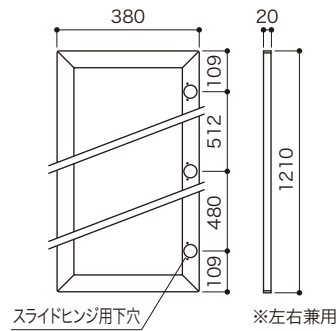


部品	サラビスL=51	ビスキャップセット	サラビスL=28	施工・取扱説明書
パーツ				
ベースボックス	4本	6セット	2本	各1式
リモコンボックス	4本	4セット	—	各1式

開戸 (ベースボックス専用)

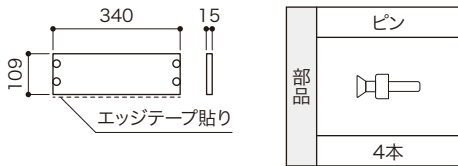


ミラー開戸 (ベースボックス高さ1200専用)

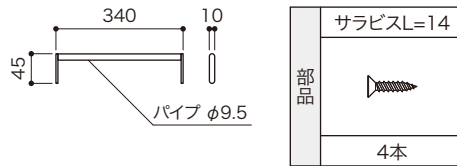


部品	サイズ	スライドヒンジ	座金	ダンパー	ヒンジ用ビスL=13.5	アルミ扉用ビスL=10	サラビスL=14	戸当りシール
パーツ								
H442		2個	2個	1個	8本	—	2本	2枚
H602/890		2個	2個	2個	8本	—	2本	2枚
H1210		3個	3個	2個	6本	6本	3本	2枚

棚板 (ベースボックス専用)



パイプ (ベースボックス専用)



フック (パイプ専用)



施工前の確認事項

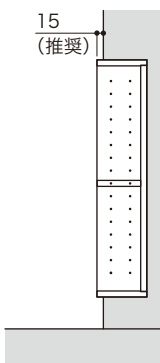
寸法単位: mm

設置方法には、壁埋め込み施工と壁付け施工の2パターンがあります。

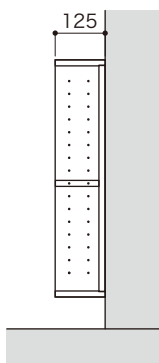
注意

リモコンボックスは壁付け施工できません。

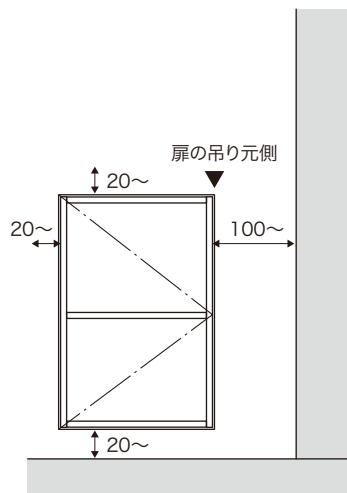
壁埋め込み施工



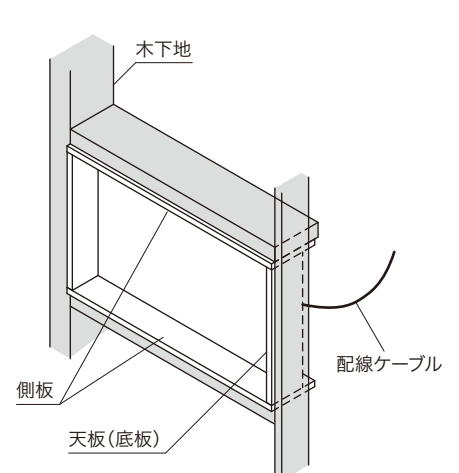
壁付け施工



開戸を取り付ける場合の天井・壁・床との離隔距離は下図のようになります。



リモコンボックスを横向きに取り付ける場合は配線と木下地にご注意ください。配線を避けるために天板(底板)が側板の奥行より短くなっています。



施工前の確認事項

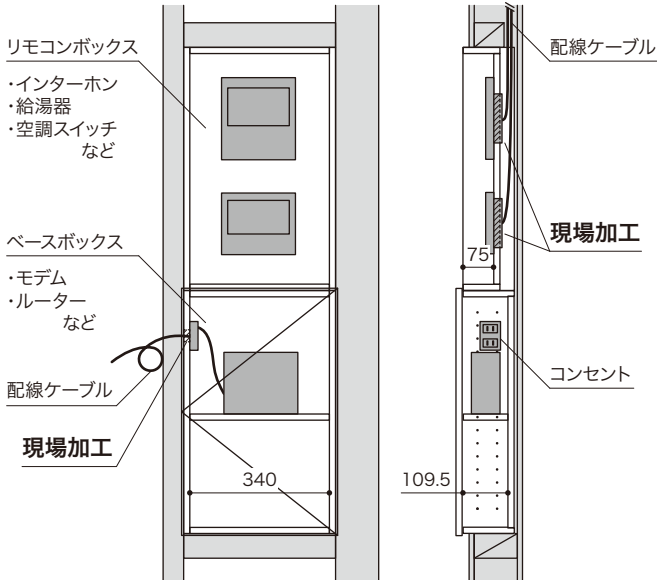
寸法単位: mm

電気機器を取り付ける場合は、ボックスに現場穴あけ加工が必要です。

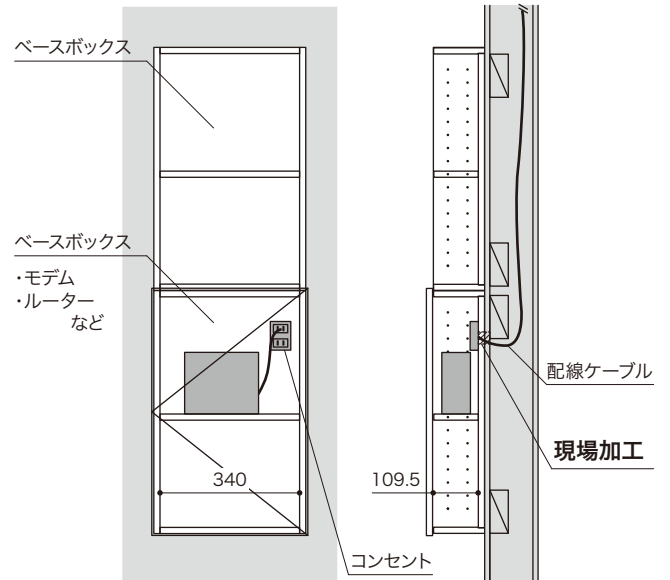
ご注意

- 電気機器の取り付け・結線は必ず電気工事が行ってください。
- 本製品へ電気機器を取り付ける場合は、必ず各電気機器の説明書に従ってください。

壁埋め込み施工



壁付け施工



躯体準備

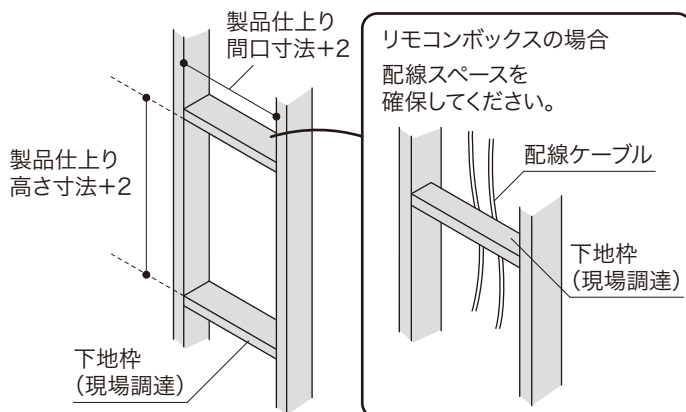
寸法単位: mm

壁埋め込み施工

ボックス設置場所に下地枠(現場調達)を取り付けます。

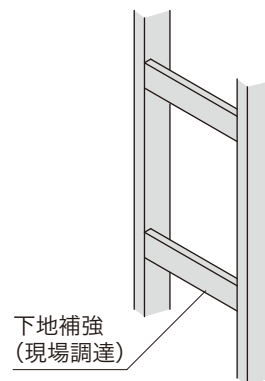
ご注意

- 下地枠の垂直・水平を下げ振りや水準器でご確認ください。
- 「据え置き」「直付け」での施工は行なわないでください。



壁付け施工

施工前に躯体の垂直・直角を確認してください。
ボックス固定位置に補強桱木や12mm厚以上の合板(現場調達)で下地補強をしてください。



1 ボックスの組み立て

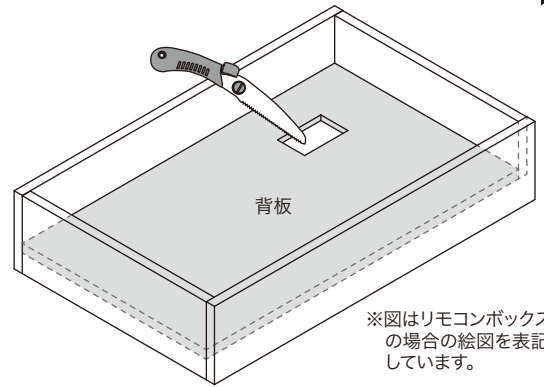
取り付け位置詳細: 11ページ~

1 ボックスの加工

取り付ける電気機器をバランス良く配置し、穴加工を行なってください。
※穴加工の条件については各電気機器メーカーの設置条件に準じてください。

ご注意

- 電気機器の取り付け・結線は必ず電気工事士が行なってください。
- 本製品へ電気機器を取り付ける場合は、必ず各電気機器の説明書に従ってください。
- ベースボックスの場合は、他のパーツと干渉しない位置に穴加工を行なってください。



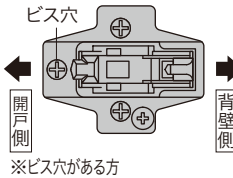
※図はリモコンボックスの場合の絵図を表記しています。

2 ベースボックスへ座金の取り付け (開戸を取り付ける場合のみ)

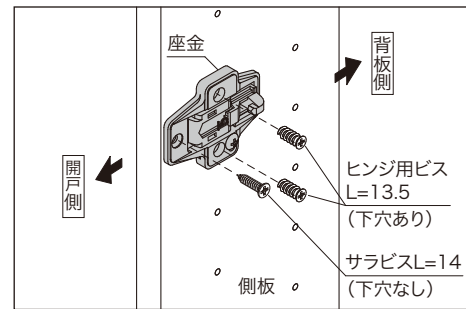
側板のダボ穴に座金をヒンジ用ビスL=13.5、サラビスL=14で取り付けます。
※側板は両側ともに座金の下穴加工をしているので、開閉方向を自由に選択可能です。

ご注意

- 座金の取り付け方向(右図参照)を必ずご確認ください。
逆に取り付けると開戸を付けることが出来ませんのでご注意ください。



- 電動式ドライバー使用禁止 
※ヒンジ用ビスL=13.5のみ

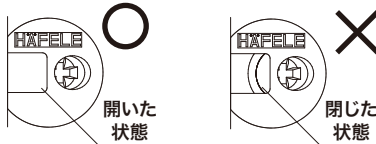


3 ベースボックスへ棚板の取り付け

ピンを好きな高さのダボ穴に4箇所差し込んだ後、棚板をはめ込みます。

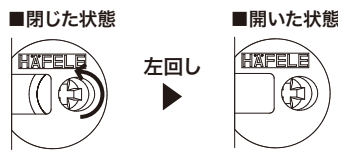
ご注意

棚板のジョイント金具が開いた状態であることを確認してから取り付けてください。



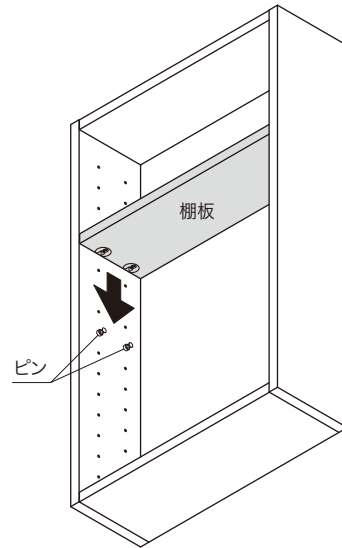
ジョイント金具が閉じた状態の場合

ジョイント金具をドライバー左回しでゆるめて開いた状態にします。



ご注意

ドライバーはななめに差し込んでください。
ジョイント金具が破損するおそれがあります。

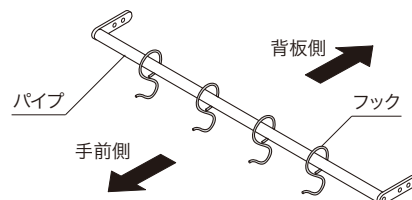


4 ベースボックスへパイプの取り付け (パイプを取り付ける場合のみ)

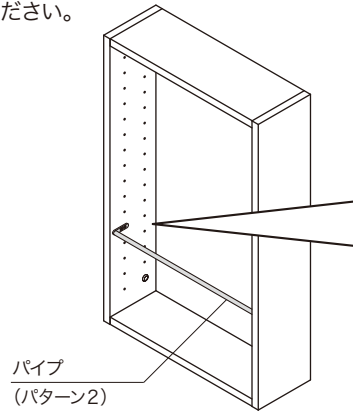
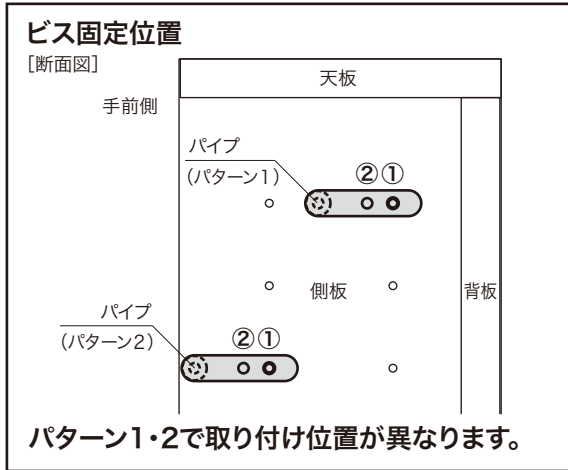
フックを取り付ける場合は先にパイプへ通します。

ご注意

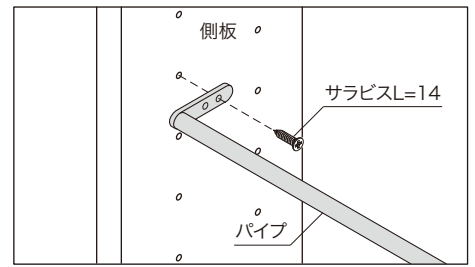
フックの引っ掛け方向にご注意ください。



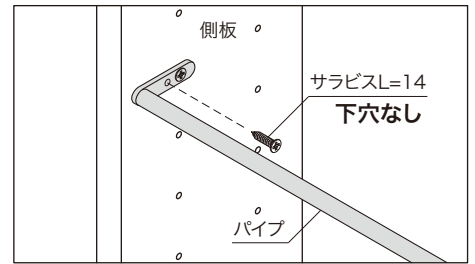
パイプを側板へサラビスL=14を使って図のように固定してください。



① 側板のダボ穴に向かって固定



② ボックス天面と水平になるように固定



2 ボックスの取り付け

壁埋め込み施工 の場合

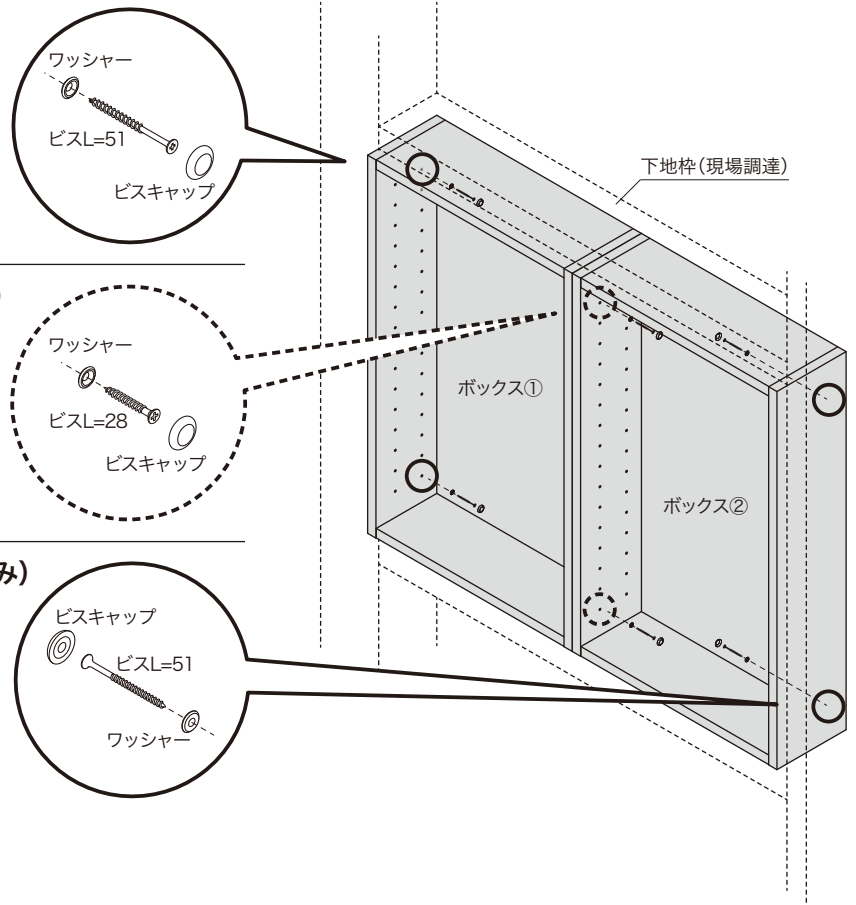
※以下はベースボックスを並列に連結する場合を説明していますが、他のプランについてもビス固定位置(推奨)を参考にして同様に施工してください。

※下図は説明のためボックスのみを表記しています。

ビス固定位置(推奨) : 5ページへ

1 ボックス①の固定

ボックス設置場所に取り付けた下地枠(現場調達)内にボックス①を設置してください。
設置後、ボックス①内部よりビスL=51で下地枠に固定し、ビスキャップを取り付けてください。



2 ボックスの連結(ボックスを連結する場合のみ)

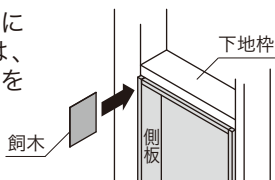
ボックス①・②の前面を合わせ、ビスL=28でボックス同士を固定し、ビスキャップを取り付けてください。

3 ボックス②の固定(ボックスを連結する場合のみ)

ボックス②内部よりビスL=51で下地枠に固定し、ビスキャップを取り付けてください。

注意

ボックスと下地枠に隙間がある場合は、飼木を入れて隙間を埋めてください。

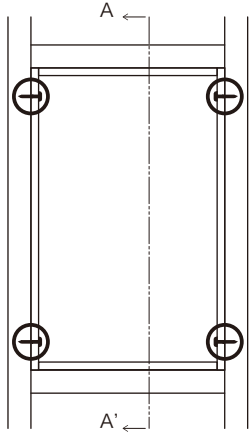


ビス固定位置 (推奨)

⊕:ビスL=51固定位置 / ⊕:ビスL=28固定位置

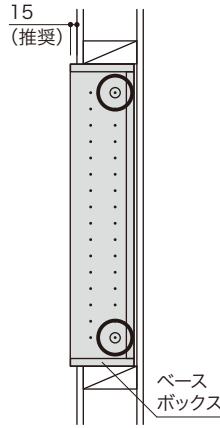
ボックス×1

[正面図]

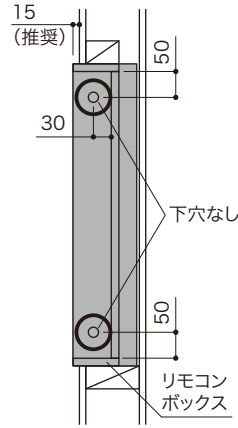


壁への固定 [A-A' 断面図]

■ ベースボックスの場合

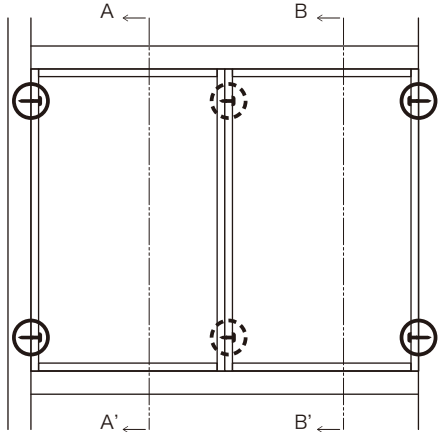


■ リモコンボックスの場合



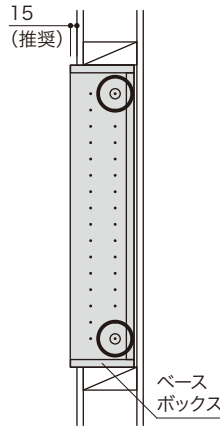
ボックス×2(並列)

[正面図]

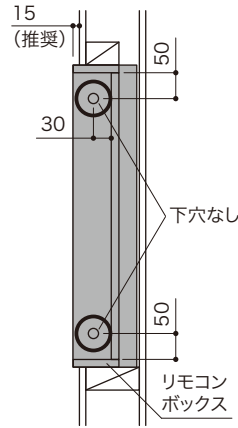


壁への固定 [A-A' 断面図]

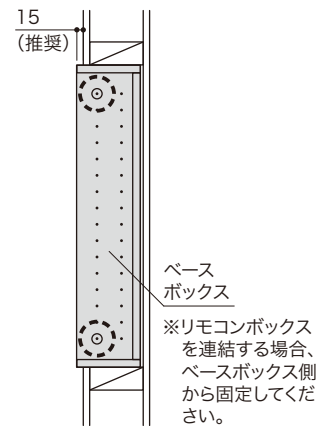
■ ベースボックスの場合



■ リモコンボックスの場合

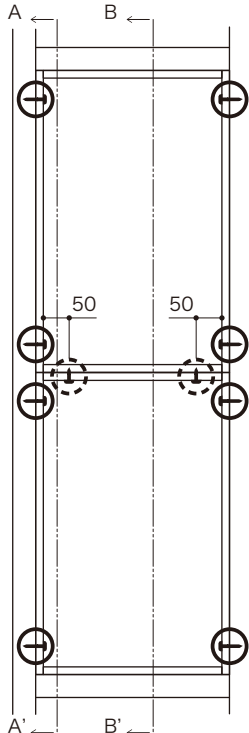


連結 [B-B' 断面図]



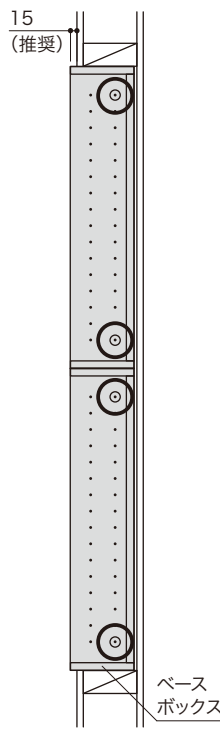
ボックス×2(直列)

[正面図]

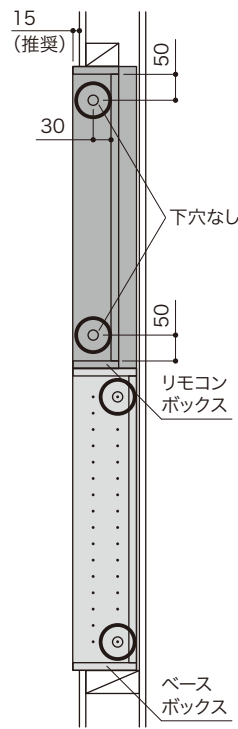


壁への固定 [A-A' 断面図]

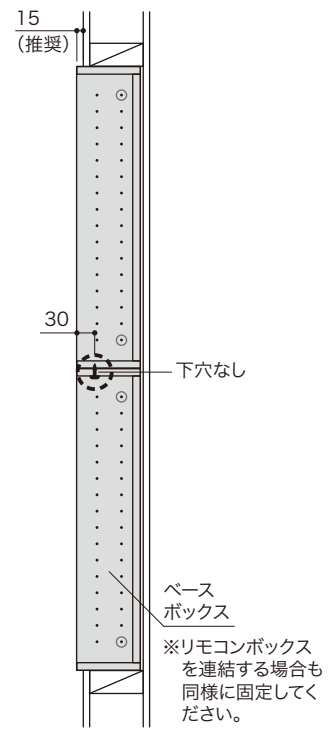
■ ベースボックスの場合



■ リモコンボックスの場合



連結 [B-B' 断面図]

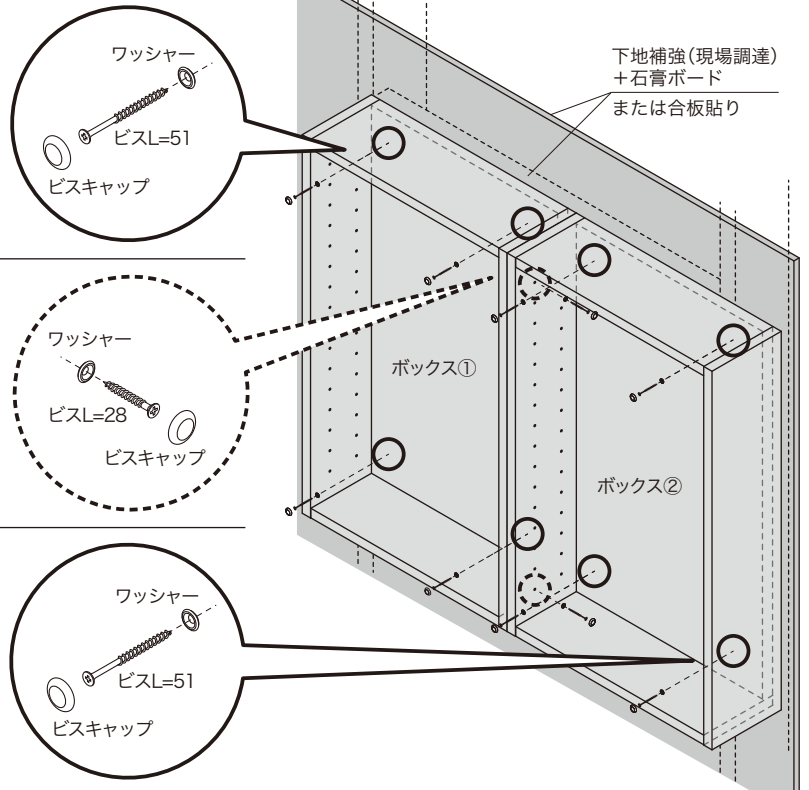


壁付け施工 の場合

※下図はベースボックスを並列に連結する場合を説明していますが、他のプランについてもビス固定位置(推奨)を参考にして同様に施工してください。
 ※下図は説明のためボックスのみを表記しています。

1 ボックス①の固定

ボックス①の背板を4箇所ビスL=51で背壁に固定してください。



2 ボックスの連結(ボックスを連結する場合のみ)

ボックス①・②の上面を合わせ、ビスL=28でボックス同士を固定し、ビスキャップを取り付けてください。

3 ボックス②の固定(ボックスを連結する場合のみ)

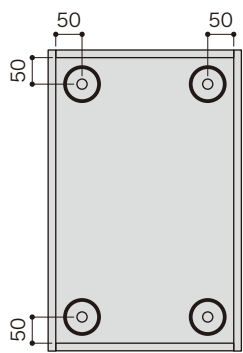
ボックス②の背板を4箇所ビスL=51で背壁に固定してください。

ビス固定位置(推奨)

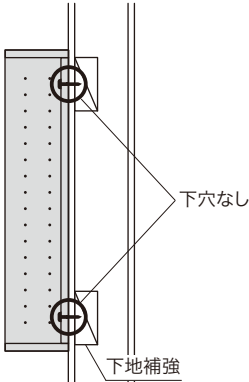
⊕: ビスL=51固定位置 / ⊕: ビスL=28固定位置

ボックス×1

[正面図]

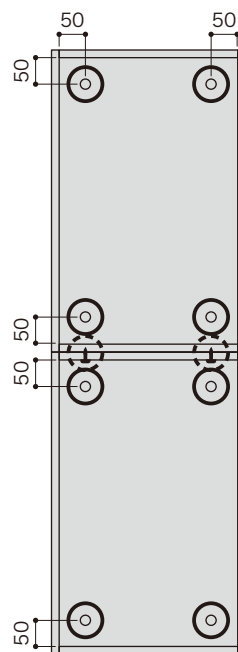


[断面図]

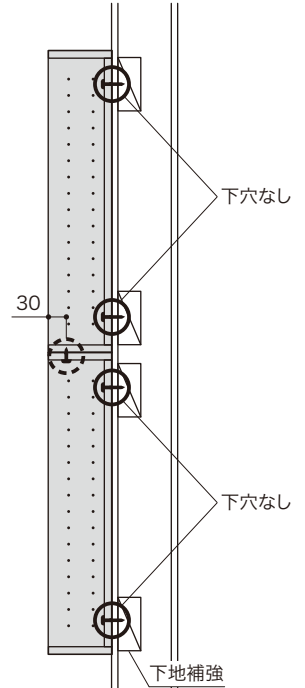


ボックス×2(直列)

[正面図]

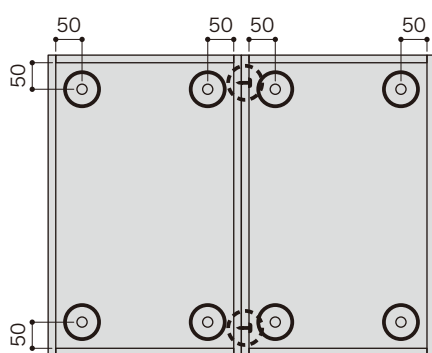


[断面図]

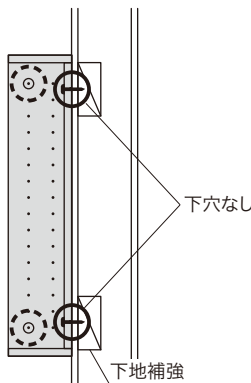


ボックス×2(並列)

[正面図]



[断面図]



※直列の場合、下側のボックスから順に施工してください。

3 開戸の取り付け・調整方法

注意

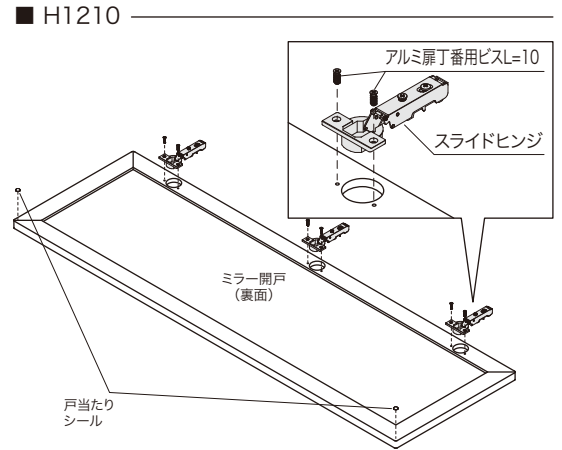
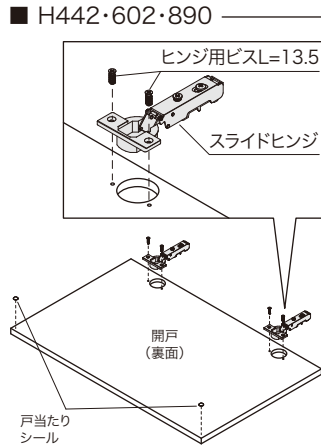
開戸は左右共通品です。上下反転させて使用します。

1 スライドヒンジ・プッシュラッチ受板の取り付け

開戸裏面のカップ穴にスライドヒンジを付属のビスで固定します。開閉側の角2カ所に戸当たりシールを貼ってください。

注意

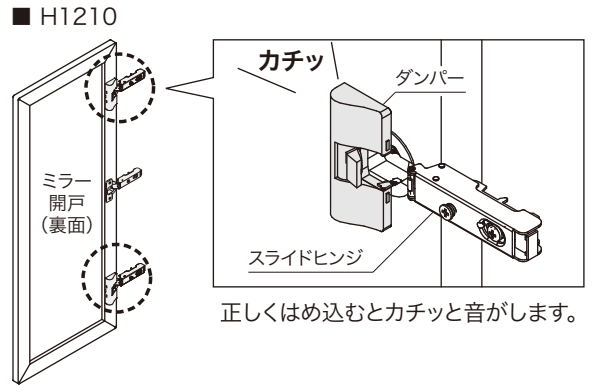
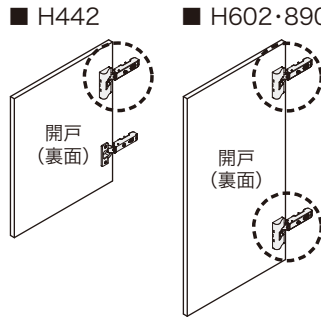
電動式ドライバー使用禁止



2 ダンパーの取り付け

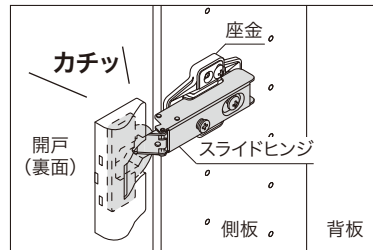
スライドヒンジのくぼみにダンパーを引っかけ、スライドヒンジにかぶせるようにはめ込みます。

🔄: ダンパー取り付け位置



3 開戸の取り付け

開戸に取り付けたスライドヒンジをボックスの側板に取り付けた座金にはめ込みます。

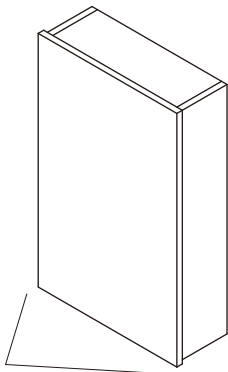


正しくはめ込むとカチッと音がします。

4 開戸の調整

開戸を取り付け後、開戸とボックス側板のちりが均等になるように、調整を行います。

左右のちりを均等にする。



注意

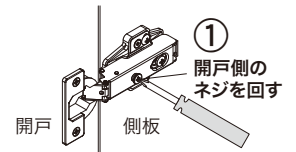
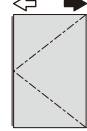
開戸の調整後必ず2~3回開閉し、確実に取り付けられていることをご確認ください。

開戸の左右の位置を調節 (吊元: 左側の場合)

①のネジを左右に回して開戸の左右の位置を調整してください。

吊元	ネジ①	開戸
左側	右回し →	右に動く
	左回し ⇐	左に動く
右側	右回し →	左に動く
	左回し ⇐	右に動く

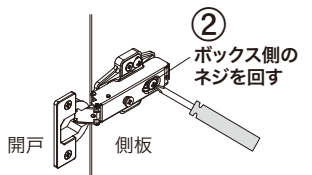
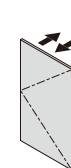
ネジ①
左回し 右回し



※吊元: 右側の場合は左表を参照ください。

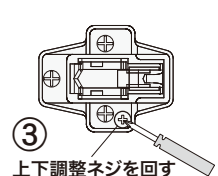
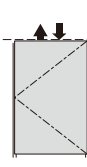
開戸とボックスの隙間を調節

②のネジをゆるめ開戸を前後に動かして調節し、適正な位置で締め直して固定してください。



開戸の上下を調節

座金にある③のネジをゆるめ開戸を上下に動かして調節し適正な位置で締め直して固定してください。

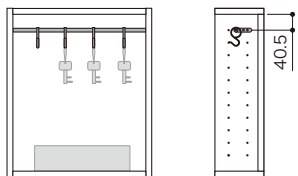


設置位置イメージ

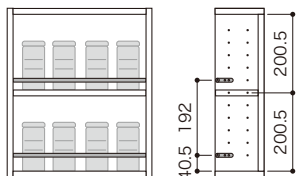
寸法単位:mm

ベースボックスH432

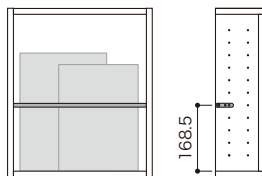
鍵・除菌衛生用品



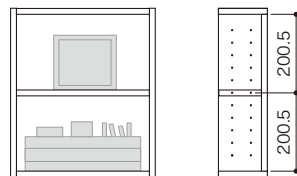
調味料



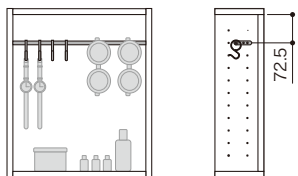
本・雑誌



文房具

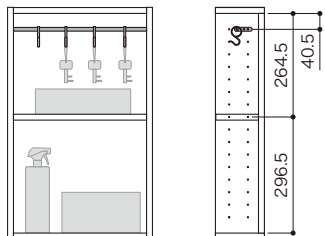


服飾雑貨

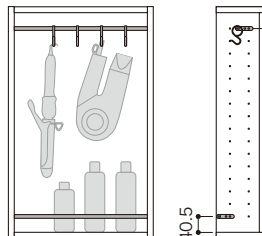
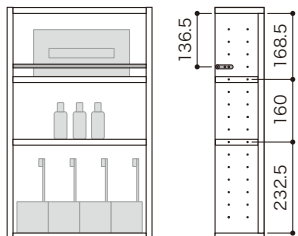


ベースボックスH592

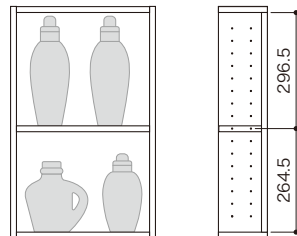
鍵・除菌衛生用品



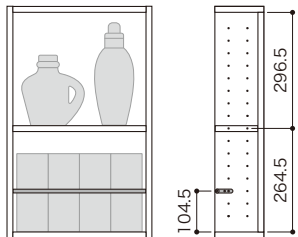
サニタリー・美容用品



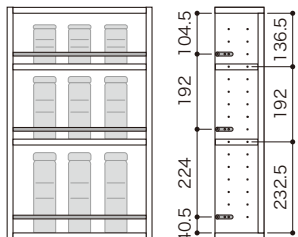
ランドリー・バス用品



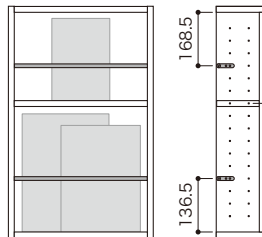
ランドリー・バス用品



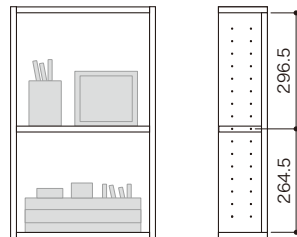
調味料



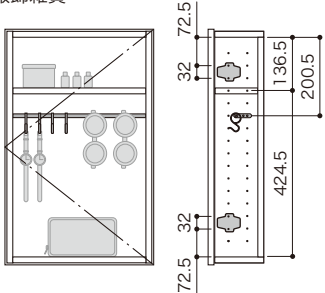
本・雑誌



文房具



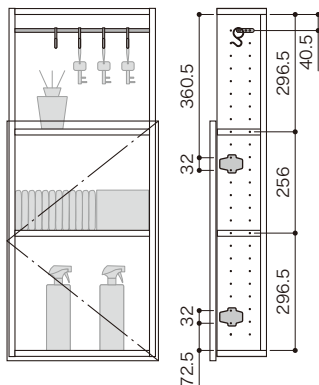
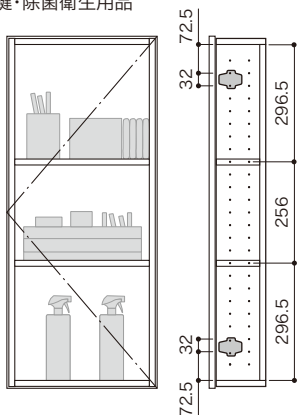
服飾雑貨



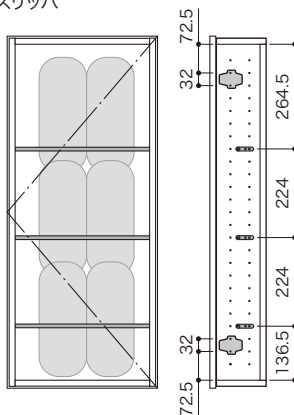
設置位置イメージ

ベースボックスH880

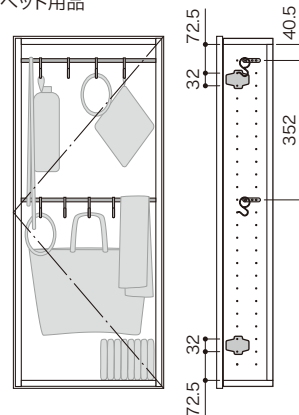
鍵・除菌衛生用品



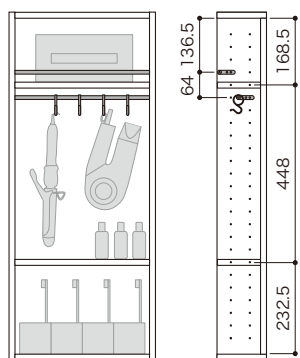
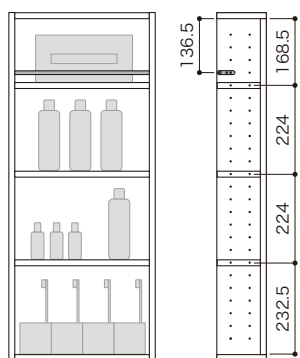
スリッパ



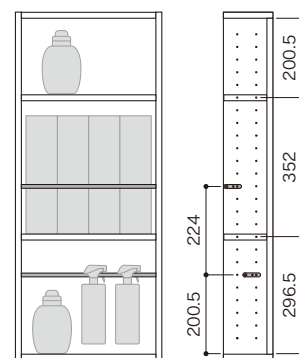
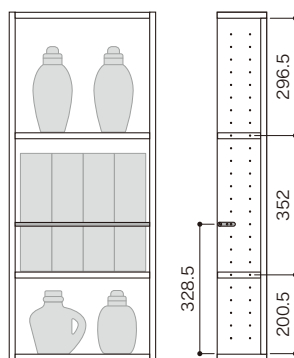
ペット用品



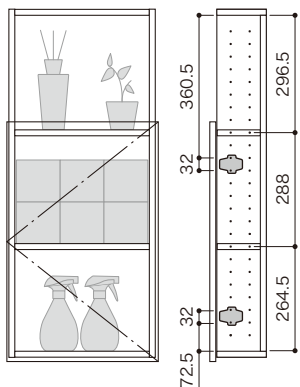
サニタリー・美容用品



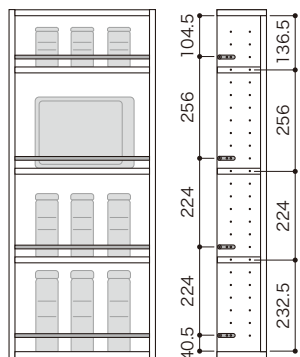
ランドリー・バス用品



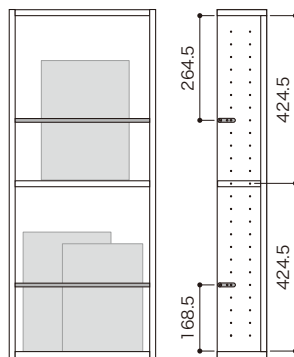
トイレトーパー・除菌消臭用品



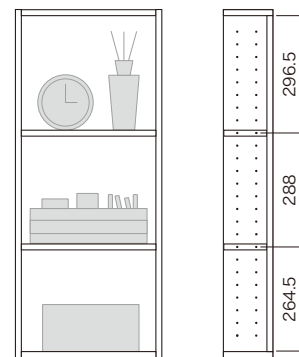
調味料



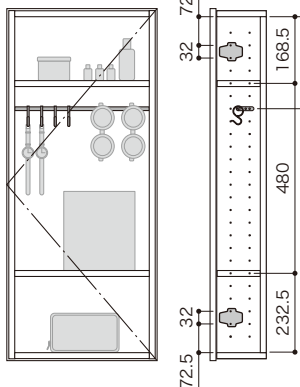
本・雑誌



文房具

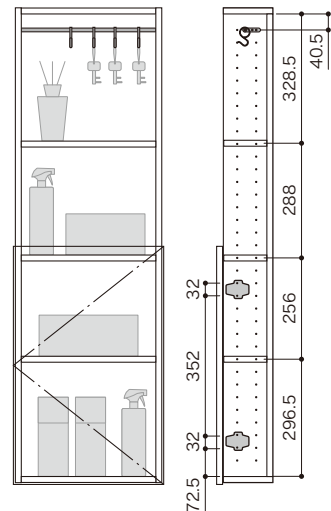


服飾雑貨



ベースボックスH1200

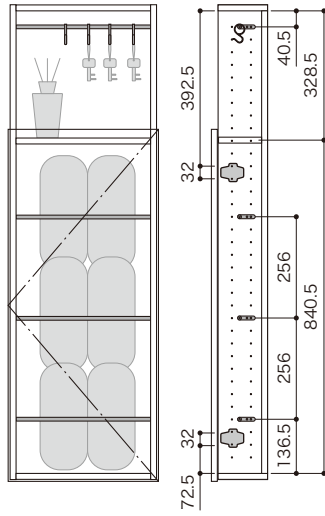
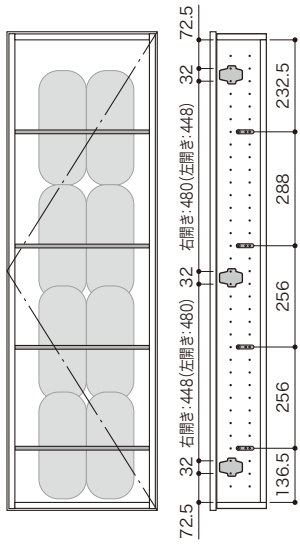
鍵・除菌衛生用品



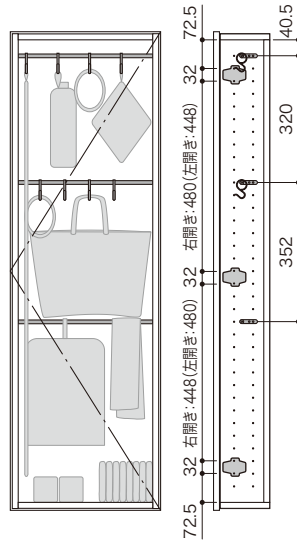
設置位置イメージ

ベースボックスH1200

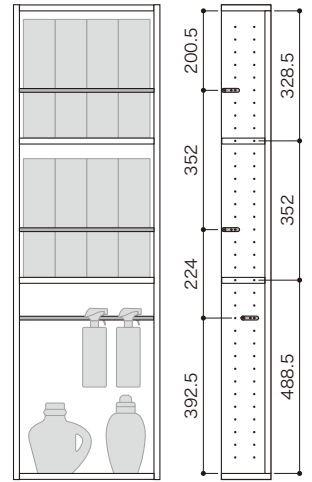
スリッパ



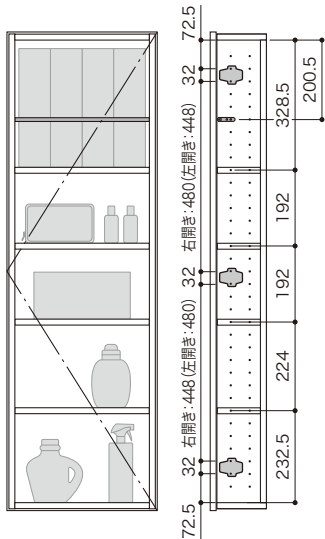
ペット用品



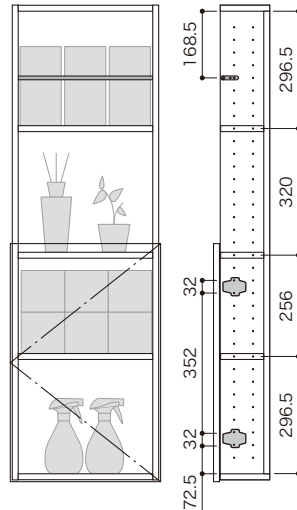
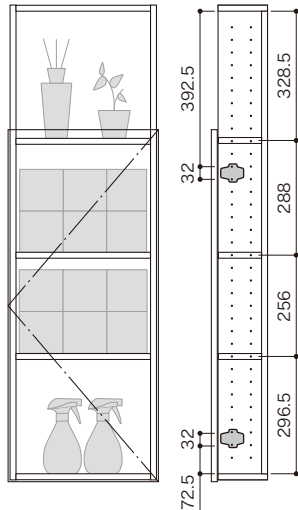
ランドリー・バス用品



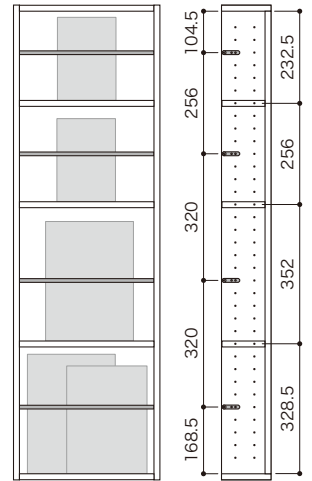
ランドリー・バス用品



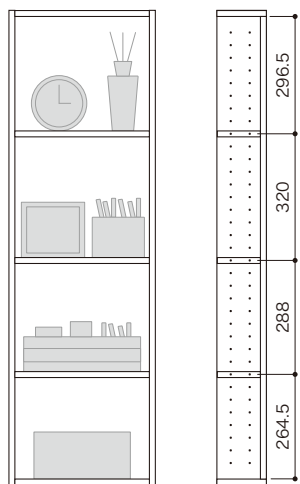
トイレトペーパー・除菌消臭用品



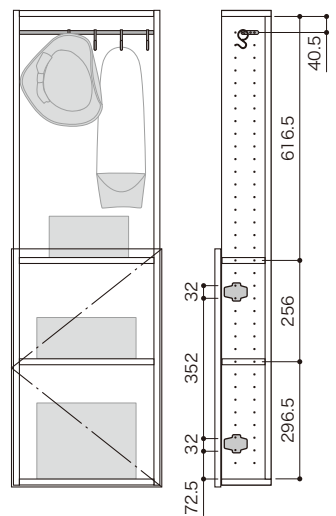
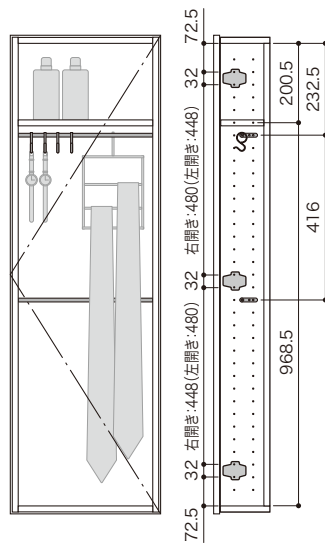
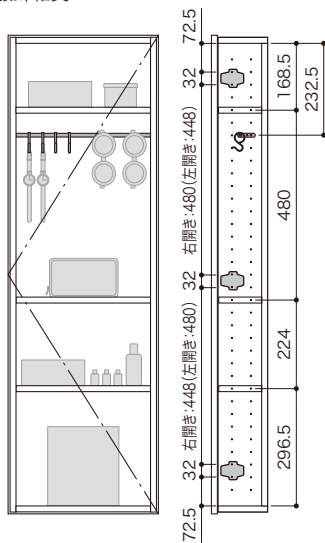
本・雑誌



文房具



服飾雑貨

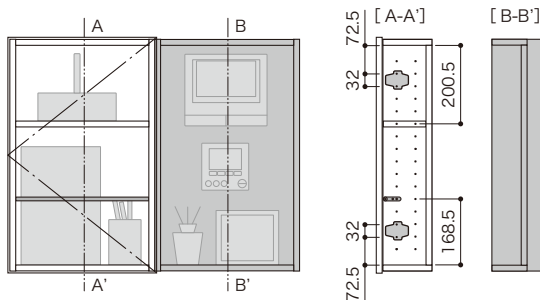


設置位置イメージ

寸法単位:mm

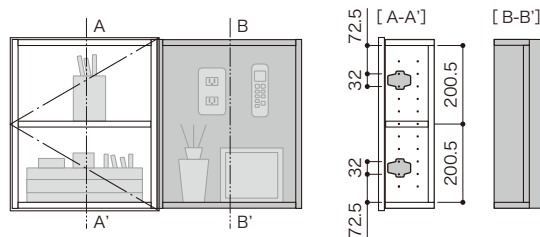
ベースボックスH592 + リモコンボックスH592

リモコン・操作パネル・小物



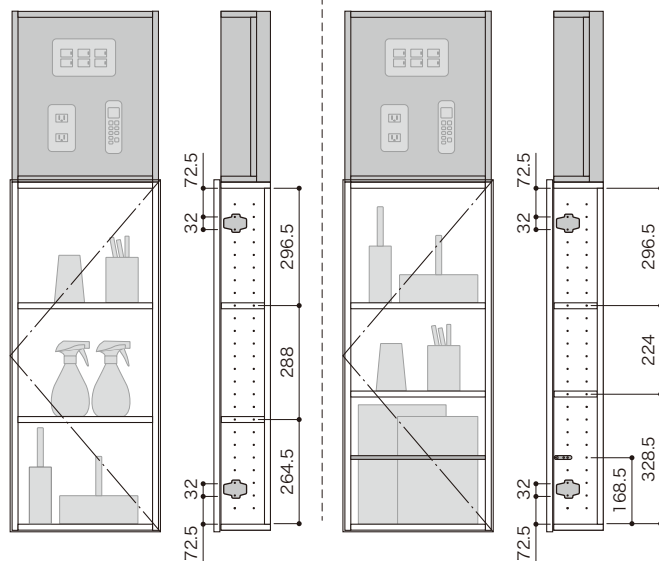
ベースボックスH432 + リモコンボックスH432

リモコン・操作パネル・小物



ベースボックスH880 + リモコンボックスH432

リモコン・操作パネル・小物



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級表示

製品名: 壁厚ニッチ収納 アドキューブ

-構成材料-

製造者: 南海プライウッド(株)

発散区分: F☆☆☆☆

住宅部品表示ガイドラインによる

ロット番号: 製品梱包に記載

内装仕上部分		下地部分	
ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
MDF	F☆☆☆☆	MDF	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆	接着剤	F☆☆☆☆

注意 この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先: 品質管理チーム 087-894-8025

NANKAI 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ 首都圏 第1チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645
首都圏 第2チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645

西日本営業グループ 近畿営業チーム TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647
中四国営業チーム TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648
九州営業チーム TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649

東日本営業グループ 北海道・東北営業チーム TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695
関東甲信越営業チーム TEL(087)806-3660 FAX(087)825-3645
中部営業チーム TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646

特需営業グループ 特需 第1チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669
特需 第2チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669